

## A区分・C区分共通

No.1(実演芸術・メディア芸術)

## 令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	6企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

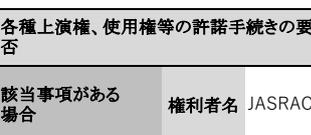
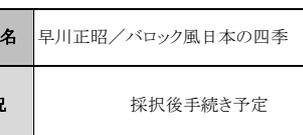
複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

## 文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしやだんほうじんあまーびるふるはーもにーかんげんがくだん 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団			団体ウェブサイトURL <a href="https://amabile-phil.com/">https://amabile-phil.com/</a>
代表者職・氏名	理事長 大門 信哉			
制作団体所在地	〒 567-0804	最寄り駅(バス停)	阪急電鉄京都線総持寺駅	
	大阪府茨木市総持寺台1-14-1			
電話番号	072-648-5874			
ふりがな 公演団体名	いっばんしやだんほうじんあまーびるふるはーもにーかんげんがくだん 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団			団体ウェブサイトURL <a href="https://amabile-phil.com/">https://amabile-phil.com/</a>
代表者職・氏名	理事長 大門 信哉			
公演団体所在地	〒 567-0804	最寄り駅(バス停)	阪急電鉄京都線総持寺駅	
	大阪府茨木市総持寺台1-14-1			
制作団体 設立年月	2015年7月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	理事長 大門 信哉 副理事長 堂面 直孝 常任理事 森田 龍親		事務局員10名 指揮者2名 ライブラリアン2名 コンサートマスター1名 演奏員50名(別添2,3) 入団条件:オーディションにおける審査の後、理事会で承認を得る	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	事務局長 吉松 美香 森 美鈴	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	税理士 山野 展弘	
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:contact@amabile-philharmonic.com">contact@amabile-philharmonic.com</a>			

<p><b>制作団体沿革・ 主な受賞歴</b></p>	<p>一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 当楽団は「若手演奏家にもっと演奏の場を」という思いのもと、2015年7月1日に設立。以来積極的に演奏会を重ね、公演回数は450回を超える。 創立5年にして2020年6月にオーケストラ連盟に準会員として加盟し、地元茨木市に根付いた活動に重点を置きながらも広く演奏活動に取り組む。 「定期演奏会」は16回、ソリストを主役に迎える「コンチェルトシリーズ」は21回、創設当初から根強いリピーターを獲得してきた「サロンコンサートシリーズ」は220回開催。 「アート・キャラバン」への参加、「JLOXコンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金」に採択上限数となる20公演採択。演奏会の生配信や海外の視聴者へのアプローチにも力を入れた。 また茨木市新設のホール「おにクルゴウダホール」での開館式典演奏に参加、「0歳から楽しめるファミリーコンサート」は満席となった。</p> <p>2024年度も引き続き「ファミリーコンサート」や「文化庁による学校公演」への参加等全国で幅広く活動している。茨木市内で「まちかどコンサート」を定期的で開催し、街の文化活性化に寄与している。</p> <p>子どもたちへの無料のワークショップや子育て支援施設での演奏も引き続き積極的に行い、未来の音楽家の育成にも力を注ぐ。 楽団Youtubeアカウントより演奏動画を生配信するなど他のオーケストラには見られない最先端の広報活動を行い、広い世代へのクラシック音楽の振興、より広く楽団を周知する活動等に努めている。</p> <p>常任指揮者・音楽監督に松岡究を擁している。</p>	
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>2019年～2021年 親子コンサート10回 幼稚園保育園公演13回 2022年 幼稚園保育園公演3回 ファミリーコンサート「0歳から楽しめるクラシックコンサート」1回 ファミリーコンサート「オーケストラの宝箱」2回 小学校有償公演6回・小学校有償公演 周年記念行事2回 子ども会コンサート1回 2023年 学校有償公演12回・幼稚園保育園公演3回 ファミリーコンサート「0歳から楽しめるファミリーコンサート」1回 子どもワークショップコンサート5回 2024年 学校有償公演12回・幼稚園保育園公演6回 ファミリーコンサート「0歳から楽しめるファミリーコンサート」1回 茨木市文化・子育て複合施設おにクルでの子どもワークショップコンサート5回 子ども会コンサート1回・子どもワークショップコンサート2回</p>	
<p><b>特別支援学校等における 公演実績</b></p>	<p>特別支援学校・支援学級への対応経験あり。 打ち合わせ段階からどのような支援が必要な子どもたちかを担当の先生から丁寧に聞き取る。 視覚支援・聴覚支援・環境的配慮など項目ごとに学校様が必要としている内容を公演に活かす。 視覚支援が必要であれば、ボード型の説明や事前に先生に台本や映像をお渡しすることなどが可能。 聴覚支援であれば、鑑賞可能な場所の設定を広げたり、鑑賞位置による聴こえ方の提示を行い、児童生徒に合った場所を選択してもらうことが可能。 身体支援では、リズム体験などの際には児童生徒が参加可能なリズム打ちの方法を数種類提示し全員が楽しみ参加できる工夫ができる。 ヴァイオリン体験など実際に楽器に触る場面では、事務局員が特に配慮の必要な児童生徒に対しそれぞれの特性に合った体験活動ができるように補助する。</p> <p>2024年「アマービレフィルのオーケストラを見て・聴いて・学べるコンサート」 三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園 大阪府立高槻支援学校 和歌山県立みはま支援学校 大阪府立箕面支援学校 大阪府立難波支援学校</p> <p>2024年「アマービレフィルのオーケストラ「体感」クラシックコンサート」 大阪府立富田林支援学校</p>	
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/playlist?list=PLTVviiU0bRJjcktsiNY3nPvoNVThAF0">https://www.youtube.com/playlist?list=PLTVviiU0bRJjcktsiNY3nPvoNVThAF0</a></p>	
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
	<p>PW:</p>	<p></p>

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	アマービレフィルの体験！発見！クラシックコンサート			
企画のねらい	オーケストラを身近に感じ、楽しいものと認識して鑑賞してもらう。そのために初見でも楽しめるような作品を選択し、こまめに解説を混ぜ理解を深める。また日本人作曲家を積極的に取り上げ、その素晴らしさの振興に努める。			
演目概要・演目選択理由	小編成管弦楽に特化したプログラムです。特殊な楽器を使用せず、かつ各曲が強い個性を放ち聴衆を飽きさせないラインナップで、運営コストパフォーマンスに優れた編成となっております。また今企画は日本人作曲家の作品を積極的に取り入れ、日本の偉人のもつ素晴らしい感性に触れていただきます。前半は序曲の後は弦楽器→管楽器→打楽器の順番で紹介しながらその特色のある作品を演奏していくスタイルです。各楽器の音色が重なり合っていく過程を意識してご鑑賞いただけます。楽器運搬もハイエース一台で移動が可能のため、登下校との兼ね合いや車の留め置き問題などがある学校様のご事情にも対応可能です。また、オーケストラが学校へ同席の際に難点となる控室の問題にも対応可能な人数ながら、本格的なクラシック体験ができるような演目を選択いたしました。(別添に追記)			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リズムの効果体感コーナー 手拍子や足拍子での参加を効果的に練った演目となります。参加者に演奏していただくリズムパターンはワークショップを含め本公演内でも担当演奏者がレクチャーし、本公演に於いても前に立ち先導してより一体感をもって参加していただけるよう練ってあります。曲の進行と共に編成も大きくなりリズムの効果が高まるよう編曲を施してあります。</li> <li>●指揮者体験コーナー 指揮者の実演と指揮解説とレクチャーを行った後、実際にオーケストラを指揮していただきます。2～3名を考慮しておりますが、体験者の選考方法や人数は学校側のご要望に柔軟に対応させていただきます。</li> <li>●校歌 オーケストラ伴奏での校歌と一緒に歌ったり聴いたりできます。</li> <li>●ヴァイオリン体験コーナー 実際に本物のヴァイオリンに触れて子どもたちに音を出していただく体験に加えて、鑑賞する子どもたち・教職員も全員にヴァイオリンに触れていただくコーナー。</li> </ul>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	20名(指揮者・ヴァイオリン演奏) 500名(ヴァイオリン体験)	
		鑑賞人数目安	体育館収容人数に合わせます。	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 F.v.スッペ／軽騎兵序曲</li> <li>2 ご挨拶・弦楽器紹介</li> <li>3 早川正昭／バロック風日本の四季より「春」第3楽章</li> <li>4 木管楽器紹介</li> <li>5 P.I.チャイコフスキー／くるみ割り人形より 葦笛の踊り</li> <li>6 金管楽器紹介</li> <li>7 P.I.チャイコフスキー／くるみ割り人形より 行進曲</li> <li>8 打楽器紹介</li> <li>9 P.I.チャイコフスキー／くるみ割り人形より 花のワルツ</li> <li>10 ★ヴァイオリン体験 休憩</li> <li>11 ★リズムの効果体感コーナー ～J.S.バッハ(小野江良太)／管弦楽組曲第3番第2曲「アリア」を使って～</li> <li>12 ★指揮者体験コーナー～ブラームス/J.ハンガリー舞曲第5番を使って～</li> <li>13 歌の紹介</li> <li>14 山田耕筰(曲)北原白秋(詞)／からたちの花</li> <li>15 M.ムソルグスキー／展覧会の絵より キーウの大門</li> <li>16 ★校歌 アンコール★ J.シュトラウス一世／ラデツキー行進曲 (★は共演・体験コーナー)</li> </ol>			
	公演時間 90 分			
出演者	<p>指揮者 うた・司会・語り／1名 管弦楽／一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 本公演に参加する編成 フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、トランペット1名、トロンボーン1名、チューバ1名 打楽器奏者1名、ヴァイオリン5名、ヴィオラ2名、チェロ2名、コントラバス1名</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>常任指揮者兼音楽監督 松岡究 ローム・ミュージック・ファンデーションの在外研修生としてベルリンにて研修後東京オペラプロデュース指揮者として活躍、日本オペレッタ協会音楽監督を歴任。2012年9月より東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任。 2023年4月よりアマービレフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者兼音楽監督に就任。</p> <p>コンサートマスター 井上隆平 第9回京都芸術祭・京都府知事賞受賞。1997年、神戸市室内合奏団(現・神戸市室内管弦楽団)に入団。2000年～'01年及び'03年～'04年は京都フィルハーモニー室内合奏団コンサートマスターを務めた。アムステルダム音楽院に留学。京都市より「平成14年度京都市芸術文化特別奨励者」に認定される。 2024年4月、一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターに就任。</p> <p>楽団長 山岸孝教 京都市立芸術大学卒業。同時に京都音楽協会賞受賞。同大学大学院音楽研究科修了。1992年 ライツ室内管弦楽団とハイドン作曲チェロ協奏曲第2番二長調を共演。オペラハウス管弦楽団首席チェロ奏者。その他のオーケストラからも客演首席として招かれる。 チェロを黒沼俊夫、上村昇、河野文昭の各氏に師事。一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団楽団長。</p>			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 21 名 スタッフ: 4 名 合 計: 25 名		運搬	積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 1 台	
	本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み 無 仕込み 9:00～10:00 ゲネプロ10:30～12:00		前日仕込み所要時間 上演 13:30～15:00 内休憩 15分	時間程度 撤去 15:00～16:00 退出 16時00分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。					
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に確認します。(大 幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月	
	20日	20日	20日	20日	
	10月	11月	12月	1月	
	20日	20日	20日	20日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	160日
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真) ※採択決定後、図 面等の提出をお願 いします。	体育館舞台下を利用 フロア占有面積 横10m×縦7m				
					
	●リズムの効果体感コーナー リズムの効果进行学习。全員参加型セッションにより効果を体感。				
					
			●指揮者体験 2名～3名体験していただけます。		
					
			●ヴァイオリン体験 児童生徒の皆様・保護者・先生方 <b>全員</b> に ヴァイオリンに触れていただけます。 奏者全員でレクチャーします。		
			●楽器紹介 オーケストラで使われる楽器を奏者が紹介		
					
	著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否		該当あり	該当コンテンツ名 早川正昭／バロック風日本の四季
該当事項がある 場合		権利者名 JASRAC		許諾確認状況 採択後手続き予定	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

<p>ワークショップのねらい</p>	<p>●オーケストラ鑑賞に対するねらい 演奏家による実演を交えた直接指導により、本公演での共演がより良い完成度で迎えられるための手助けを行う。 実際の演奏や話を聴くことで、オーケストラについて少しでも興味を高め、本公演への興味関心を引き出す。 また、奏者やスタッフとの距離感が近くなることでオーケストラへの親近感が沸き、クラシックを聴いてみようとする子どもが増えることも期待している。キャリア教育ともリンクし子どもたちの将来へつながる公演を目指す。 本公演でワークショップのことを思い出し、楽器の音色や演奏方法などに着目して鑑賞できるようにする。</p> <p>●新しい鑑賞スタイルの提案と振興 感染症対策を念頭に置いた音楽授業への取り組み方を最新ガイドラインに沿ってレクチャーする。 今後の鑑賞スタイルの提案と振興もねらいとしている。</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>参加人数目安</p>	<p>特に制限はなし</p>
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>演奏者(司会含む)6名を派遣</p> <p>●オーケストラで使用する楽器の仕組みや特徴を実演を伴い解説する。 奏者一人一人が楽器を紹介し、それぞれに楽器とのエピソードなど交えて紹介していく。 楽器単体での演奏を聴くことで弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器それぞれの特徴を知り、音色の違いを学ぶことができる。</p> <p>●演奏者によるミニコンサート オーケストラとは何か、合奏とはどういうことかを実際に曲を聴きながら学んでいく。 メロディ・ハーモニー・リズムがだんだんと増え曲の雰囲気が変わっていく様子を体感し、本公演への興味をより高めることが可能。</p> <p>●本公演「リズムの効果体感コーナー」で共演する為のリズム講座。 ジャンルや曲によって異なるリズムパターンの違いなども併せて実演を伴い解説する。 様々な国の特徴的な拍子を紹介。身近な楽器から少し珍しい楽器・手作り楽器などを用いて解説しリズムに関してジャンルを問わずに知ることができる。 手拍子で子どもたちも参加し、拍子や曲の雰囲気を味わうことができる。</p> <p>●リズム講座を踏まえ、シンプルなリズムを使って共演。 数パターンのリズムを学び、セッションに挑戦する。体を使ってリズムを表現し、奏者の演奏と共演することによって音楽に参加する楽しさを体感することができる。</p> <p>●質問コーナー 奏者や楽器についての質問はもちろんのこと、裏方の話や本公演についての期待している点や楽曲についての質問なども受け、より本公演への期待を高めることができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>●学校の要望によっては、半数をオンラインで実施するなどの工夫も可能。</p> <p>●体育館の収容人数に応じて体験人数を増やすことも可能。</p> <p>●体育館以外での実施も可能。音楽室や多目的室など。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>【子どもたちに本格的な音楽体験を！】 創設以来一貫して実施している地元・茨木市内を中心とした教育機関への訪問コンサートは、まず音楽を楽しんでもらう、という事に加えて、将来音楽と関わっていく人材の育成、長い視点で考えた上でのクラシック音楽の振興を目的とした側面も持ちます。そうして培った演奏理念は間違いなく全国の子どもたちにお届けする価値があると自負しております。</p> <p>数多く子どもたちに向けた演奏をするなかで、その意図をはっきりさせ、「楽器の特色」「リズムの魅力」など、明確にテーマ分けすることで、より深く音楽が持つ力であったり、その意味を伝えることができると感じております。</p> <p>今企画内の「リズムの効果体感コーナー」では、子どもたちが参加する企画ですが、こちらは聴衆が叩く手拍子により、オーケストラの演奏の様子が変化していく演出が盛り込まれています。打ち込むようなリズムとはかけ離れた楽曲が、自分たちの手拍子によって変化していく様を体験できます。演奏する側に回る魅力を存分に感じていただける新しい提案です。</p> <p>また、当楽団の「ヴァイオリン体験」では児童生徒・先生方全員にヴァイオリンに触れていただく体験ができます。クラスから1～2名は弦楽器奏者が付き添い演奏体験をし、そのほかの皆様はヴァイオリンを直に触ったり、弦を弾いたり、奏者へ質問をするなどの時間を設けております。普段あまり触れる機会のないヴァイオリンを全員に触っていただくため、毎回20本以上の楽器を用意し調弦などメンテナンスもきちんとして行っております。聴く・観るだけでなく実際に「触れる」という活動を通して子どもたちの音楽への興味関心をより高め、豊かな情操をはぐくむことができると考えます。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p>【学校側の負担をできるだけ減らす工夫】 昨年度までに多数の学校公演の実績がございますため、打ち合わせ・ワークショップ・本公演まで事務局が率先して学校に効果的な方法をご提案できるノウハウがあります。学校側にわかりやすくご提示し細かい内容も反映できる打ち合わせ資料を作成しております。ワークショップ実施時に、本公演時の会場、搬入経路、控室などについての確認を行い、懸念点等を先生方と共有してまいります。元教員の事務局員が、学校の困りどころやスムーズな芸術鑑賞のための工夫、支援の必要なお子様への配慮などきめ細やかに対応します。公演企画の狙い(上記)を明確にし、先生方と共有した上で共演への練習やキャリア教育などについて打ち合わせ等進めて参ります。</p> <p>共演を行う児童・生徒の人数や、実施体形(配置)等確認し、スムーズな実施方法を検討いたします。</p> <p>楽器運搬にもハイエース一台で移動が可能のため、登下校との兼ね合いや車の留め置き問題などがある学校様のご事情にも対応可能です。また、控室の数もできるだけ少なく対応できるよう努めております。学校様ごとのお困りごとやご要望にできる限り幅広く答えていきます。</p> <p>【感染症対策】 感染症対策の方針の共有。児童・生徒、先生方、演奏員、スタッフ全員に有効で、かつ高効率な方法をこちらからも提案し、協議の上実施します。各分野における最新のガイドラインの情報収集を常に行い、提案し、随時学校と協議して最善策を考えて参ります。</p>
--	--

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>i) 離島・へき地等における公演実績</p> <p>2019年11月 兵庫県豊岡市の小学校において公演を行う。 2019年度 茨木市内の幼稚園公演ではかなり狭い経路で実施せねばならなかったが問題なく実施完了した。</p> <p>2022年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～にて、 7月 市川町立瀬加小学校 丹波篠山市立八上小学校 9月 海南市立中野上小学校 熊野市立入鹿小学校 紀美野町立下神野小学校 志摩市立浜島小学校 伊勢市立東大淀小学校 紀ノ川町立調月小学校 10月 御所市立葛小中学校 でのワークショップ・本公演実績あり。</p> <p>子どものための文化芸術体験再興事業～学校による提案型～ 4月 三田市立志手原小学校 6月 赤磐市立吉井中学校</p> <p>学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 2024年度 6月 松阪市立香肌小学校 など、へき地や少人数校での本公演実績あり。</p> <p>ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大型打楽器が搬入不可能な場合は、演奏効果の高い小型打楽器での演奏に変更する。大型楽器の「音量効果」を小型楽器の「個性・多様性」の魅力にシフトチェンジすることで、演奏効果の大きさを小さくすることなく演奏する事が可能。小型打楽器であれば普通車が入る事ができれば搬入可能。</li> <li>●学校が少人数のため、近隣の学校と合同で鑑賞したいという事例において、申請校とは別会場で公演をおこなってほしいという要望にも柔軟に対応した。</li> <li>●A区分と同内容のワークショップ実施可能。</li> </ul> <p>iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本企画では、ワークショップを午前中・本公演を午後とするスケジュールも視野に入れた企画をしている。そのため、移動に関わる交通費などの削減ができ、学校の負担も減らすことができる。</li> <li>●小規模管弦楽の中でも特異な編成である1管編成を採用し、編曲を施し実演する本企画は、楽器の種類を極力減らすことなく各楽器の特性を活かした演奏が可能となる。通常であれば2管編成、または3管編成あるいはもっと大きな編成でしか演奏できない作品も、もちろん大編成の迫力という観点では劣るが1管編成であれば色彩感を極力落とさずに提供できる。</li> <li>●大編成作品の長所は損なう点は確かにマイナスであるが、地方で過疎化が進んだ場所ではそもそも大きなオーケストラは招く事ができない。限られた条件の中で、小編成の古典作品だけでなく、より近代的な管弦楽作品に生の演奏で触れられることは、編曲を施した演奏であっても一定の価値を提供する事ができる。</li> <li>●運搬についても同じように、例えば使用する打楽器の選定によって演奏効果を可能な限り維持した演奏効果が期待できる。本公演では演奏効果を可能な限り維持する事を考えたうえで、可能な限り無駄を省いたスマートなクラシックでの演奏会として提案する。</li> </ul>
---------------------	--

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】
団体構成員	<p>指揮者紹介</p>  <p>松岡 究 Hakaru Matsuoka</p> <p>プロフィール  成城大学卒。指揮を小林研一郎、ヨルマ・パヌラ、ランベルト・ガルデッリに師事。音楽学を戸口幸策に師事。1987年、ドニゼッティ「ビバ・ラ・マンマ」でデビュー。1991年文化庁在外派遣研修員として、ハンガリー・ブダペストに留学。小林研一郎、ランベルト・ガルデッリの下で研鑽を積む。その間スウェーデン・アルコンスト音楽祭にヨルマ・パヌラより招待され、タリン国立歌劇場管を指揮。「卓越した才能」と激賞された。</p> <p>帰国後は主に東京オペラプロデュースを中心に数々のオペラを指揮。93～96年新神戸オリエンタル劇場では常任指揮者としてオペラとコンサートをプログラミング・指揮した。また特にオペラで日本初演した作品は数多い。グノー「ロメオとジュリエット」、ワグナー「恋愛禁制」、ベルリオーズ「ベアトリスとベネディクト」、ヴェルディ「2人のフォスカリ」「一日だけの王様」、ロッシーニ「とてつもない誤解」、「ランスへの旅」（日本人による日本ロッシーニ協会による初演）、R・シュトラウス「無口な女」（舞台初演）、ドニゼッティ「当惑した家庭教師」、ビゼー「美しいソパースの娘」、ヘルマン・ゲッツ「じゃじゃ馬ならし」。これらはいずれも各界から大きな反響と高い評価を獲得し、新聞各紙、音楽雑誌などで絶賛された。</p> <p>この他にも、R・シュトラウス「カプリッチョ」、ブリテン「ねじの回転」（新国立小劇場）等も高い評価を受けた。2009年4月から東京ユニバーサルフィル専任指揮者に、また日本オペレッタ協会の音楽監督にそれぞれ就任した。2004年11月より2007年10月までローム・ミュージック・ファンデーションの在外研修生としてベルリンにて研修。1987年～2008年東京オペラプロデュース指揮者として活躍、2009年～2012年日本オペレッタ協会音楽監督（日本オペレッタ協会は2013年4月に解散）を歴任。2009年より東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団専任指揮者を経て2012年9月より常任指揮者に就任。</p> <p>2023年4月よりアマービレフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者兼音楽監督に就任。</p>	

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.1

【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】



団体構成員

出演者(楽団員・アソシエイトプレーヤー2024年9月現在)

常任指揮者・音楽監督 松岡究  
 指揮者 加藤完二 井村誠貴 佐々木新平  
 歌・司会 友田久美 藤本裕貴 鈴木絵莉南 奥野麻琴  
 コンサートマスター 井上隆平  
 客演コンサートマスター 釋伸司  
 ヴァイオリン 藪野巨倫 木村修子 三谷りょう 天野千恵子 安藤佳子 石井聡子  
 伊藤梢 立花礼子 福島高子  
 ヴィオラ 駒木愛弓 春田真理子 宇佐見優 三木香奈 秀岡悠汰 豊嶋博満  
 チェロ 山岸孝教(楽団長) 山岸亜友美 福田奈央子 吉田円香  
 コントラバス 河村久美子 財盛紘  
 フルード 樋口藍 窪田香織 田中紗貴  
 オーボエ 福盛貴恵 樋口成香  
 クラリネット 濱松春菜 新竜馬 伊藤咲代子  
 ファゴット 木村卓巳(インスペクター)  
 ホルン 東本真奈 世古宗優 岡田喜美子  
 トランペット 西谷良彦(副楽団長・演奏統括) 松原一樹 森美鈴  
 トロンボーン 奥真美 西川侑作  
 バストロンボーン 澤井亮太郎  
 チューバ 青山恵大  
 打楽器 樽井美咲 松井駿

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】
<p>演目概要 演目選択理由</p>		<p>○1 F.v. スッペ／軽騎兵序曲 トランペットの重厚なファンファーレから始まり、表情豊かな様々な場面へと展開していく幕開けにふさわしい序曲です。</p> <p>○2～9の進行は、楽器紹介を通じて各セクションの特色を活かし、かつ耳馴染のある楽曲を用いて演奏を聴いていただき、その楽器群の個性と魅力を楽曲を通じて理解していただけます。</p> <p>○3 早川正昭／バロック風日本の四季「春」より 第3楽章 2024年8月に逝去された早川正昭氏が残した弦楽作品。バロック音楽と日本唱歌が融合した魅力に満ちた楽曲です。</p> <p>○5,7,9 P.I. チャイコフスキー／くるみ割り人形 より3曲 「葦笛の踊り」では木管楽器、「行進曲」では金管楽器にフォーカスして、その特徴を聴いていただきます。</p> <p>○10 ヴァイオリン体験 実際に本物の楽器(ヴァイオリン)に触れ、オーケストラの楽員と一緒に演奏体験をしていただけます。</p> <p>○11 リズム体感コーナー アマービレフィルオリジナルの体験型プログラムです。音楽における「リズム」の重要性や、演奏に参加する楽しみ、また静かな楽曲にリズムを加えて徐々に様子に変化していく様子を、会場全員で一緒に演奏しながらまさに体感することができます。</p> <p>○12 指揮者体験コーナー 本物の楽器に触れて音楽をより身近に感じていただいた後に、実際にオーケストラの前に立って指揮者になっていただけます。短い楽曲での演奏になりますが、一生の思い出にさせていただけることでしょう。</p> <p>○14 山田耕筰(曲)北原白秋(詞)／からたちの花 日本歌曲を採用し、歌詞を直接聴いていただくことで、日本語の素晴らしさについても感じていただけます。</p> <p>○15 M.ムソグルスキー／展覧会の絵 より キーウの大門 親友の死をきっかけに作られたこの名作「展覧会の絵」のエピソードを添えて、音楽に込められた作曲家の感情やストーリーを知っていただいたうえで、この壮大な終曲・キーウの大門をお聴きいただけます。</p> <p>○15 校歌 各学校様に受け継がれている校歌を、オーケストラ演奏と共に共演して演奏会の終わりを迎えます。</p>